

防災すごろく 多言語版

原稿	解説
<p>①自治会 あなたは自治会にはいつていますか？ 近所に日本人の友だちがいますか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会・町内会とも言います。 ・自治会の制度そのものが無い国が多いので説明が必要です。ぜひ自治会に入ってもらうことをすすめてください。 ・区役所では、自分の住所を伝えるとどこの自治会にあたるのか教えてもらえます ・自治会の説明パンフレットもあります（日本語） ・広報あおばやその他区役所からのおしらせや地域の福祉施設や学校のたよりなどが自治会員に配布されます。ごみ回収なども自治会単位で捨てる場所を決めています。 回覧板 ・ごみの捨て方については多言語パンフレットがあります。 ・スマホ用ごみ分別アプリは、英語、中国語があります。 ・ラウンジ作成の「外国人のための暮らしのガイド」にも自治会について掲載しています。
<p>②スタートに戻る 防災訓練に参加しましょう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練には、自治会単位でおこなっているもの（公園や自治会館）、地域防災拠点（小中学校）でおこなっているものなどがあります。 ・住んでいるところのどこで「防災訓練」があるのか、また知っているのか、尋ねてみてください。自治会回覧などでもお知らせが来ることがあります。 ・交流センターでも避難訓練を行います。
<p>③地域情報 地域情報を調べておきましょう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災マップ ・ハザードマップ ・防災リーフレット 多言語版があります <p>「わいわい防災マップは・・・にあります」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防災マップは毎年あたらしくなります。区役所などで手にはいります。青葉国際交流ラウンジでも配布しています。現在 H26 年版が配布中！ ・転入した時に区役所では「情報の福袋」多言語版を渡しています。（ラウンジにもあります） ・どんな場所が危険かを知るマップがハザードマップです。 ・防災リーフレットは多言語であります。（ラウンジでも配布） ・わいわい防災マップは横浜市の website からダウンロードできます。
<p>④避難場所 地域防災拠点というのは指定されている小学校や中学校です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・住んでいるところから、ちかい避難場所を調べておきましょう。 ・* 全ての小中学校が避難場所ではありません ・全国避難所ガイド アプリがあります。 <p>http://www.jwa.or.jp/news/2014/03/post-000343.html</p>
<p>⑤一回やすみ 地震が起きる前に対策や準備をしておく必要があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・非常持ち出し袋を作ってみましょう。
<p>⑥危険箇所 家の中の危険箇所を調べておきましょう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家具転倒防止のための器具はデパートやスーパーなどで売っています。 ・家具を置かない／少ない部屋、倒れるものが無い場所を準備しておきます。

<p>タンス、テレビ、窓ガラス</p>	<p>* 玄関に近いところで、何も置いていない場所や壁になにも掛けていない廊下など</p>
<p>⑦一つもどる 消火器や住宅用火災警報器をつけておきましょう</p>	<p>・ 消火器がどこにあるか日頃から覚えておきます。 ・ 火災警報器は設置が義務づけられています 寝室や台所についていますか？ 2011年6月から全ての住宅に義務づけられています。 電池式のものもあるのでぜひ付けましょう (電池式の高くありません)</p>
<p>⑧家の耐震化 あなたの家は(地震で揺れても)大丈夫ですか？ 無料耐震診断の相談を受けることができます 045-671-2943 横浜市建築局企画課</p>	<p>・ 1981年以前に建てた木造住宅は無料で耐震診断を受けられます。 耐震改修についても補助があります。 住んでいるアパートやマンションの耐震についても尋ねてみましょう。 また、アパートなどで行われる避難訓練にも参加しましょう。</p>
<p>⑨地震発生 あなたはどうしますか？ 落ちついて安全確保をします。</p>	<p>・ まず身の安全 状況を把握しましょう パニックにならない ・ 緊急地震速報(横浜市では緊急速報メールが届きます) 登録は不要 http://www.city.yokohama.lg.jp/somu/org/kikikanri/kinkyumail/ ● 多言語生活ガイド(携帯版)をインストールしておく、災害情報も配信されます。 http://www.clair.or.jp/tagengo/ad_index.html http://www.clair.or.jp/tagengo/</p>
<p>⑩一回やすみ Shakeout 訓練の様子をウェブで見よう！ www.shakeout.jpで見られます。</p>	<p>ShakeOut 行動をとりますよ！ Drop/Cover/Hold on</p>
<p>⑪帰宅困難 通勤・通学の途中で帰ることが出来ない場合は？ 帰宅ルートを決めておきましょう。</p>	<p>・ 帰宅困難者一時滞在施設が大地震の際、用意されます。 駅などでアナウンスや表示があるので注意しましょう。 よく利用する駅のそばに開設されます。どこにあるか知っておきましょう。 帰れなくなった場合、誰に連絡するのも、決めておきましょう。</p>
<p>⑫災害時帰宅支援ステーション</p>	<p>徒歩で帰宅することになった場合。道路沿いにあるコンビニやガスステーションなどさまざまな施設が登録しています。トイレを借りられます。水やマップを無料で配布します。 登録店にはステッカーがついています。気を付けてみましょう。</p>
<p>⑬寝る時 着替えと履物の用意をしておきましょう。 「避難カード」を作っておきましょう。</p>	<p>夜間 非常灯がつくようにしておくのも大切です。 避難カードは一度書いてみましょう 自治会の役員にも確認しましょう</p>
<p>⑭ ④に戻る 避難所で出される食べ物 アレルギーの人や外国人で食べられないものもあります。</p>	<p>アレルギー対策の食糧はまだ備蓄されていません。 特別な食品は自分で準備をします。</p>

<p>⑮災害の備え 備蓄品の準備 飲料水と食料品は1週間の用意をしましょう</p>	<p>一人一日3リットル ×7日 21リットルの水を準備しておきましょう。</p>
<p>⑯情報入手 次の所へ問合せをします。 横浜市外国人震災時情報センター 青葉国際交流ラウンジ</p>	<p>災害時に YOKE(横浜市国際交流協会)が運営します。 外国人のためのコールセンターが災害時にも機能します。</p>
<p>⑰ラジオ・テレビで防災情報</p>	<p>防災ホームページを見よう</p>
<p>⑱手回し充電式ラジオ 停電でも使えます。 ラジオ局：FM サルース、FM ヨコハマ</p>	<p>手回し充電ができるものを一台用意しておくで安心です。 FM サルース 84.1 MHz サイマルラジオ（ウェブラジオ）から聞くことができます。 サイマルラジオを携帯に登録しておきましょう。 あおバリューラジオ 多言語放送を行っています。</p>
<p>⑲チャレンジしてみよう 家族で連絡を取り合う練習をしてみよう！ ここで2が出たら GOAL だ！</p>	
<p>⑳災害用伝言ダイヤル 171 「171」の体験利用をしてみよう</p>	<p>171 の体験 http://www.ntt-east.co.jp/saigai/voice171s/howto.html 毎月1日、15日、正月休み(1/1-1/3) 防災週間(8/30-9/5) 防災とボランティア週間(1/15-1/21) 無料です ぜひ やってみましょう 留守番電話のような仕組みです。録音を残しておく場所がNTT</p>
<p>㉑災害用伝言版サービス web171 携帯電話で登録しておこう 安否情報の確認ができます</p>	<p>文字で残しておくものです。 パソコンから行います。 http://www.ntt-east.co.jp/saigai/web171/index.html 日本語 https://www.web171.jp/web171app/disasterTop.do?japanese 英語 https://www.web171.jp/web171app/disasterTop.do?english 韓国語 https://www.web171.jp/web171app/disasterTop.do?korean 中国語 https://www.web171.jp/web171app/disasterTop.do?chinese</p>
<p>GOAL</p>	